

(記載凡例)

- ・目玉事業：赤太字、下線
- ・重点支援措置に該当する事業：斜字

【区全域を対象として実施】

バリアフリー法のマスタープランを2021年度中に策定予定
商店等における段差解消用簡易スロープの設置、点字付きメニューの作成及び筆談ボードの配置の助成
(2018年度実績21件)

2019年度アメリカ代表のパラリンピアン(車いすラグビー)、障害当事者の参加による「バリアフリーまち歩き点検」と心のバリアフリーシンポジウムの実施

2019年度中に若い世代を対象として、「世田谷における共生社会」をテーマにキャッチコピーを公募し、ポスターやチラシ等の広報啓発に活用予定

【小中学生に対する取組】

全区立小中学校・幼稚園での人権教育の推進(小学校61校・中学校29校・幼稚園8園)
ボッチャやブラインドサッカー等の障害者スポーツの体験と障害者アスリートとの交流



2019ボッチャ世田谷カップ



スポーツ施設

競技会場

【ユニバーサルデザインの街づくり】

現在実施中の事業
今後実施予定の事業(計画中の事業)

【心のバリアフリー】

現在実施中の事業
今後実施予定の事業(計画中の事業)



新たに整備するサイン(イメージ)

【馬事公園周辺】

馬事公園外周道路の一部約620mにおいて電線類地中化工事を実施(2019年度未完成予定)

2017年度に障害の方も含めた住民参加で策定したサイン整備計画に基づき、最寄り5駅(千歳船橋、経堂、上町、桜新町、用賀)から馬事公園までのルート上のサイン整備やのルート上の段差や視覚障害者誘導用ブロックの点検・改修を実施(2019年度未完了予定)

鉄道事業者、バス事業者等公共交通施設管理者に対し、ユニバーサルデザインに基づく施設改修の働きかけを実施

【区立総合運動場陸上競技場】

2019年10月末竣工予定の大蔵運動場陸上競技場について、観覧席に車いす用座席(30席)を整備
多機能トイレ1室、車いす対応トイレ3室を整備
車いす対応更衣室・シャワー室を男女2室ずつ整備
観覧席(スタンド)内の段差を解消し、エレベーターを設置し、車いす等でも利用しやすい施設として整備

【障害者のスポーツ環境の向上】

陸上競技場の障害者利用環境の改善(車いすシャワー室の設置)
パラリンピック競技種目等の障害者スポーツ(ボッチャ、車椅子バスケットボール、シッティングバレー、ゴールボール等)に触れる機会を拡充し、障害者スポーツの普及啓発を実施
2019年8月に障害の有無に関わらず、小・中学校や町会自治会、障害福祉施設、アメリカチーム、民間企業など多様な16チームが参加した「ボッチャ世田谷カップ」を開催
障害者スポーツ事業を支えるスタッフ等の育成や障害者スポーツ・レクリエーション交流事業の促進

東急目黒線



ホストタウン・共生社会
ホストタウンロゴマーク

このロゴマークは、世田谷区がアメリカ合衆国のホストタウン・共生社会ホストタウンであることをPRしていくために作成しました。「桜をモチーフに、アメリカ、世田谷のS、心、つながりと信頼、未来への発展」をイメージしています。